

推奨	推奨			
一般名	ロスバスタチンカルシウム		アトルバスタチンカルシウム水和物	
代表的な製品名	(GE) ロスバスタチン錠	(先発) クレストール®錠	(GE) アトルバスタチン錠	(先発) リピートール®錠
標準的1日薬価	10.10~11.4 円 (2.5mg/日)	21.3 円 (2.5mg/日)	11.0~15.8 円 (10mg/日)	28.5 円 (10mg/日)
効能効果	○高コレステロール血症 ○家族性高コレステロール血症		①高コレステロール血症 ②家族性高コレステロール血症	
用法	1日1回 経口投与		1日1回 経口投与	
用量	1回 2.5mg (最大:20mg)		1回 10mg (最大:①20mg、②40mg)	
半減期(hr)	14.0±10.9(5mg,普通錠)		9.44±2.50(錠剤,10mg)	
特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・水溶性ストロングスタチンで、相互作用が少ない ・承認用量の幅が最も広く、用量調節がしやすい ・最も薬価が低い ・シクロスポリンとは併用禁忌 ・口腔内崩壊錠(OD錠)が発売されており、服用しやすい 		<ul style="list-style-type: none"> ・脂溶性ストロングスタチン ・CYP3A4で代謝されるため、相互作用に注意が必要 ・マヴィレット配合錠と併用禁忌 ・糸球体濾過量保持作用が示唆されている ・口腔内崩壊錠(OD錠)が発売されており、服用しやすい(GEのみ) 	

推奨	オプション	
一般名	ピタバスタチンカルシウム	
代表的な製品名	(GE) ピタバスタチン錠	(先発) リバロ®錠
標準的1日薬価	13.7~17.8 円 (2mg/日)	42.4 円 (2mg/日)
効能効果	○高コレステロール血症 ○家族性高コレステロール血症	
用法	1日1回 経口投与	
用量	1回 1~2mg (最大:4mg)	
半減期(hr)	10.5±1.1 (錠剤,2mg)	
特徴など	<ul style="list-style-type: none"> ・脂溶性ストロングスタチン ・「10歳以上の小児における家族性高コレステロール血症」の適応が唯一承認されている ・シクロスポリンとは併用禁忌 ・口腔内崩壊錠(OD錠)が発売されており、服用しやすい 	

有効性・安全性

- ・日本では 2024 年 10 月時点で、ストロングスタチン 3 種類（アトルバスタチン、ピタバスタチン、ロスバスタチン）、スタンダードスタチン 3 種類（シンバスタチン、プラバスタチン、フルバスタチン）が発売されている。
- ・日本動脈硬化学会「動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版¹」など国内のガイドライン²⁻⁴において、特定のスタチンは推奨されていない。
- ・日本循環器学会「急性冠症候群ガイドライン 2018 年改訂版⁵」においては、日本の ACS 患者においては、早期から最大量のストロングスタチンが推奨されている。
- ・スタチン不耐診療指針作成ワーキンググループ「スタチン不耐に関する診療指針 2018⁶」において、スタチン間の有害事象発生率については記載されていない。

推奨の理由

- ・有効性・安全性、各薬剤の特徴（上記）を考慮し、推奨にロスバスタチン、アトルバスタチン、オプションをピタバスタチンとした。
- ・推奨薬（ロスバスタチン、アトルバスタチン）、オプション（ピタバスタチン）のエゼチミブとの合剤も発売されているため、必要に応じて使用を検討する。
- ・本フォーミュラリは、成人の高コレステロール血症に対するフォーミュラリであることに留意いただきたい。

推奨薬以外のスタチンについて

下記の理由により本フォーミュラリには掲載していないが、継続処方、地域・施設の処方実績や流通状況などに応じて処方を考慮する。

- プラバスタチン：水溶性のスタンダードスタチン、相互作用が少ない。
本薬効群で唯一、細粒剤が発売されている(先発品のみ)。
- フルバスタチン：脂溶性スタンダードスタチン、CYP2C9 で代謝、夕食後の服用が必要である。
シクロスポリン製剤との併用可能(併用注意)。

<参考文献>

- 1：日本動脈硬化学会. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン 2022 年版
- 2：日本動脈硬化学会. 動脈硬化性疾患予防のための脂質異常症診療ガイド 2023 年版
- 3：日本糖尿病学会. 糖尿病診療ガイドライン 2024
- 4：日本腎臓学会. エビデンスに基づく CKD 診療ガイドライン 2023
- 5：日本循環器学会. 急性冠症候群ガイドライン 2018 年改訂版
- 6：スタチン不耐診療指針作成ワーキンググループ（日本肝臓学会、日本神経学会、日本動脈硬化学会、日本薬物動態学会）.スタチン不耐に関する診療指針 2018
- 7：日本フォーミュラリ学会 HMG-CoA 還元酵素阻害剤（スタチン）フォーミュラリ ver.3.1

本フォーミュラリは 2024 年 10 月 22 日時点の添付文書・インタビューフォーム・薬価ならびに各種ガイドラインを参考に作成していることに留意されたい。